



夙川さくら保育園 子育てだより 第4号



社会福祉法人 甲山福祉センター

夙川さくら保育園 〒662-0046 西宮市千歳町4番19号

TEL : 0798-23-1211 FAX : 0798-23-1210

『一時保育』をご存知ですか？

夙川さくら保育園では、子育て支援として市内在住のおおむね6ヶ月以上で就学前までのお子様を一時的にお預かりします。

☆ 保育時間 ・ 休園日 ☆

- ・午前9時00分から午後5時00分
- ・土曜日、日曜、祝祭日
- ・年末年始（12月29日～1月3日）
- ・その他園の定めた日

まずは、①申し込み書などを保育園まで

取りにお越しください

②面接日を電話で予約してください

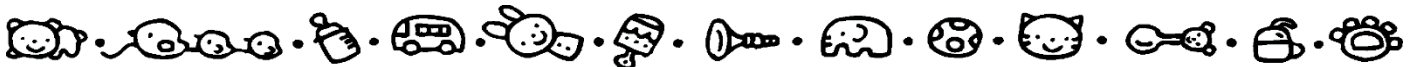
※利用者が重なっている日は、希望日にご利用いただけないことがあります。

☆ 園庭開放 ・ 育児相談 ☆

実施日：毎週火曜日・木曜日

時間：午前9時30分～午前11時00分

在園児の子どもたちと一緒にあそびましょう。日々の子育てでの疑問・質問などがあれば、お話しください。



☆ すくすく子育て教室 ☆

（全行事とおしてご参加していただく教室となります）

対象年齢：18か月以上～5歳児

時間：午前9時30分～午前11時00分

持ち物：お茶・帽子・着替え・タオル

行事		
リズム運動	七夕まつり	クリスマス会
節分	ひなまつり	



※ご好評につき定員がいっぱいになりました。

ありがとうございました。

☆ 育児講座 ☆

対象年齢：8か月以上～5歳児

時間：10時00分～11時00分

持ち物：お茶・帽子・着替え・タオル

※申し訳ありませんが、先着10組とさせていただきます。

	日にち	行事
平成28年	10月26日(水)	ベビーマッサージ
	11月16日(水)	絵本について
平成29年	1月18日(水)	卵抜きアレルギー食

☆ 体験保育 ☆

平成28年 11月8日(火)～11月10日(木)

0～2歳児

先着3組



☆ 短期体験保育 ☆

平成28年 11月18日(金)

2歳児

先着3組

☆体験保育☆短期体験保育☆の申し込み方法

時間：午前9時30分～午前11時00分

持ち物：お茶・帽子・着替え・タオル

申し込みの受付日：実施日の1ヶ月前より

衣服えらび ～ どんなものがいいの？ ～

- ・汗をかきやすいので通気性重視。
- ・ハイハイの活発な時期は、きちんとハイハイができるようなおなかがないような上着丈のもの。
- ・10ヶ月以降は大人より一枚少ないのが目安。

- ・歩行が始まります。綿などの柔らかい素材で快適なゆとりがあるもの。
- ・ズボンは伸縮性があり、ウエストはゴムがいいですね。硬い素材は窮屈に感じますよ。

- ・動きやすい、脱ぎ着しやすい、トイレに行きやすいが1番です。
- ・ボタンは子どもがつまみやすいように大きめサイズ。
- ・前後の違いがわかるものだと、自分でやりなおそうとしますよ。



☆ジャストサイズ☆綿100%素材☆自分でやりたい！！☆デザインより機能性を・・・☆

0歳児 手作り玩具の紹介 ～ココロ積み木～



☆準備物☆

- ・使い終わったガムテープの芯
- ・厚紙
- ・画用紙
- ・包装紙
- ・透明テープ
- ・鈴やビー玉



1



2



3

完成!

☆作り方☆

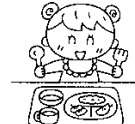
- ① ガムテープの芯の片面に厚紙を貼る
- ② ガムテープの芯の中に鈴やビー玉を入れ、もう片方の面に厚紙を貼る
- ③ 周りに画用紙や包装紙を貼り、上から透明テープを貼って完成!

☆遊び方☆

* 転がしたココロ積み木を追いかけたり、腕をしっかり振って音を鳴らして楽しむことができます。

また、指先をしっかり使ってバランスをとりながら積み上げるのも楽しいです。

* 何個か作り、表は動物や果物、花や車など子どもの好きな物の絵を、裏はすべて同柄の包装紙を貼ります。全部を裏にしておいて、同じ絵柄を当てる、絵合わせも楽しむことができます。



子どもの好き嫌いはどうすればいいの? その2

1歳を過ぎた頃から、今までばくばく食べていたものを突然食べなくなることがあります。それは、色や味の違いを認識できるようになった証、喜ばしいことと受け止めましょう。

3~4歳くらいまでは、新しい事やものを避けたがるがよくあります。食べ物も同様に見慣れない食べ物を避け、食べ慣れたものを好んで食べる傾向がみられます。「お腹が空いていれば、食べるわね」と、慣れないものを目の前に並べても、食べようとしません。そんな場合、無理強いせず小皿に少しだけ盛り付け、様子を見ましょう。子どもは大人の真似をするものです。家族の人達がおいしそうに食べているのを見ると、「食べてみていいかな…」と食べ始めることもよくあります。何よりも大切にしたいことは「食事時間が楽しいこと」です。食事の時間が楽しければ、自然と食べ物の幅も広がることでしょう。

また「うちの子は、野菜が嫌い、まったく食べないの」と言っておられるお母さんをよく見かけます。こうした思い込みも、豊かな食経験を阻む一因になります。食材の調理方法を変えてみるなどの工夫で、食べることがありますし、食べることを嫌がる食材があったとしても焦らず「また今度食べようね」と、楽しい気分で「ごちそうさま」ができる環境が大切です。

